

マンガで

フランス革命を伝える

理学部教養 山中聡 講師

歴史という科目は暗記科目で興味がないという人は多いのではないだろうか。そこで、歴史上の出来事を舞台とした漫画で物語を楽しみながら、歴史を学ぶことを勧める。今回、フランス革命をテーマにした漫画『第3のギデオン』の執筆協力をした本学の山中聡講師に取材した。



▲漫画『第3のギデオン』の時代考証をする
山中聡講師＝進藤剛志撮影

山中先生は『第3のギデオン』の作者である乃木坂太郎氏から依頼を受け、2年前から執筆協力をしていく。具体的には漫画内での時代考証、フリーズの訂正、キャラクター設定や漫画の流れなどを作者と話し合っている。登場人物は史実にほぼ忠実であるが、主人公のギデオンとジョルジュ、またギデオンの娘のソランジュは架空の人物である。この実在しないキャラクターが、歴史

上の人物とどう関わっているのか、また、歴史の授業などで名前しか触れないような人物の、生き生きとした様子が如実に描かれているところが見どころである。「フランス革命を当時のフランス人の生活の観点から学び直している」と専門家も言うほど、細かい描写にこだわっている。

山中先生は歴史、さまざまな革命がある中でフランス革命は特に「革命中の革命」であると言っている。「フランス革命は価値観や政治思想などの『心』というものを形作るいろいろな生活習慣や周囲の環境をゴロッと変えようとした。そこが一番すごいと思

歴史上、「革命」と言えるのはフランス革命だけ

理系の我々にとって、専門分野のみを究めていくとどうして視野が狭くなりがちだが、時には世の中のことに目を向けるのも良いだろう。『第3のギデオン』を読んだ、フランス革命からさまざまな教養・教訓を学ばせてはどうだろうか。

おでかけの秋

六義園



夏も終わりを迎え、街中はそろそろハロウィン一色になりつつある。本学の学生たちは、夏をどのように過ごしたのだろうか。夏休みに国内外問わず旅行に行った人も多くいるはずだ。一方で、猛暑のため、室内からほとんど出なかつた人もいるかもしれない。今回は、夏を満喫した人はもちろん、そうでなかつた人にもおすすめの場所を紹介したい。

今回、紹介するのは都内の庭園の一つである六義園だ。六義園は造園当時から小石川後楽園とともに江戸の二大庭園に数えられていた。文学的造詣の深さを反映した繊細で温かな日本庭園である。

六義園の魅力は大まかに分けて三つある。一つ目は、南北線飯田橋駅から駒込駅まで8分とアクセスが良く、そのうえ駒込駅からも近いことだ。授業と授業の空きコマにふらつと足を運ぶことができる。



▲▼昨年の紅葉シーズンの六義園とライトアップの様子＝六義園提供



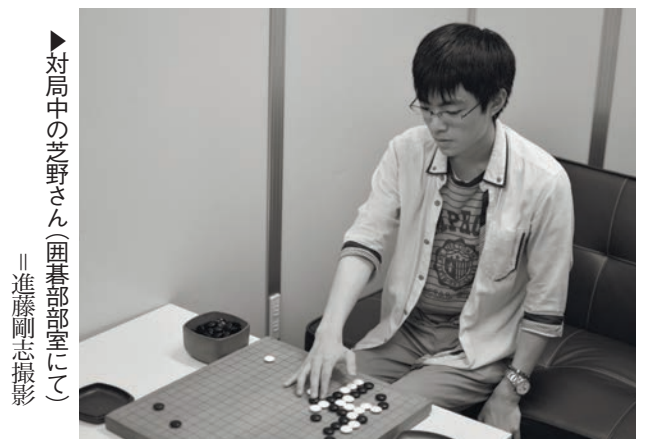
二つ目は、都内屈指の紅葉の名所であることだ。園内を散策したあとは、池を見ながら、茶屋で抹茶や菓子を楽しむこともできる。学業やアルバイト等に追われ、忙しい理大生にはもってこいの

休息スポットといえよう。庭園を楽しむ、日本の和の心を感じるのも気分転換になるに違いない。さらに六義園では、11月下旬から12月上旬にかけて紅葉のライトアップを行う。都内で、紅葉のライト

理科大にもプロ棋士!

芝野龍之介さん (MS科2年)

「プロになると、平日にも対局があります。大学の授業と被ることも、珍しいのではないです」という。芝野さんは今年4月にプロとなつて以来、朝9時40分から始まり、最低でも6時間はかかる対局に臨んでいる。最近では、プロ棋士の多い中国での大会にも出場し、国際的にも活躍している。



▲対局中の芝野さん(囲碁部室にて)＝進藤剛志撮影

「この『自由さ』が囲碁の魅力だと、芝野さんは語る。アマチュア時代、芝野さんはプロ棋士の養成機関で「院生」として腕を磨いた。プロとなるための試験は夏と冬の年2回行われる。夏の試験

「プロになると、平日にも対局があります。大学の授業と被ることも、珍しいのではないです」という。芝野さんは今年4月にプロとなつて以来、朝9時40分から始まり、最低でも6時間はかかる対局に臨んでいる。最近では、プロ棋士の多い中国での大会にも出場し、国際的にも活躍している。

「この『自由さ』が囲碁の魅力だと、芝野さんは語る。アマチュア時代、芝野さんはプロ棋士の養成機関で「院生」として腕を磨いた。プロとなるための試験は夏と冬の年2回行われる。夏の試験

「この『自由さ』が囲碁の魅力だと、芝野さんは語る。アマチュア時代、芝野さんはプロ棋士の養成機関で「院生」として腕を磨いた。プロとなるための試験は夏と冬の年2回行われる。夏の試験

紅一点 ~キャンパスに安心安全を届けたい~

女性警備員 寺嶋みなみさん



▲葛飾キャンパス唯一の女性警備員・寺嶋さん＝進藤剛志撮影

今年度から葛飾キャンパスに、初回、そんな彼女に話を聞いた。女性警備員である寺嶋みなみさんが配属された。警備員の中で紅一点がしたかったんです。寺嶋さんは、高校時代にファミパレル関連の仕事なども考えたが、人に安全や安心を与えることができないという点に魅力を感じ警備員を仕事に選んだそうです。

本学の警備員の仕事は駐輪場の整備や鍵の管理、火災報知器等の問題が発生した際に現場に駆けつけることなどである。夏の暑い中での警備は厳しく、また、キャンパス内の全ての鍵を管理するのは、苦労だそう。しかし、駐輪場の整備中に挨拶をされたときや、人から感謝をされることにやりがいを感じるという。

警備員さんは、私たちの学校生活とキャンパスの平和を陰で支えている。本学学生も挨拶をすることで感謝の気持ちを伝えたい。

名画座 ギンレイホール

2本立てで学生 1200円!!

★毎月1回オールナイトも開催中!
3~4本の特集上映が学生は1000円!!

新宿区神楽坂 2-19 03(3269)3852